

「面を伝えられ「乗り入れが一つの夢だった。通勤、通学の利便性が向上し、所要時間短縮で観光客にも『近い』との印象が与えられそう。15年は震災からの再生を加速させるターニングポイントになると思う」と述べた。

丸ごと放射能測定

装置開発 石巻魚市場で初検査

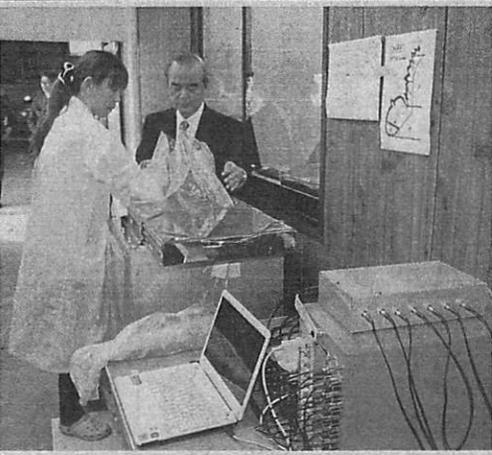
魚をミンチ状態にすりつぶし検査している。ミンチにするのも検査もそれぞれ15分ほど要するたため、魚1匹当たり30分ほど必要だった。さらに測定精度は1キロ当たり10ミリが限界だった。

初の検査には、これから水揚げの主力となる体重1キロ未満のマダラの幼魚(通称・マメダラ)を加えて、多くのデータを

収集することで放射能汚染濃度がどう変化していくか調べることができると話している。

年度内には、ベルトコンベヤーを流れる魚を1匹ずつ、極めて短い時間で放射能測定できる装置に改良を施したいとしている。

石巻魚市場は「消費者に安心安全を届けるため、できる努力はしたい。労力が大幅に減るし、ミンチにしないので、検査を終えた魚も販売できる。高級魚も多いだけにありがたい」と歓迎している。



魚を丸ごと入れて放射能を測定する装置

被災者支援考えよう

29日、石巻専修大でフォーラム 4氏講話、パネル討論

仮設住宅や被災住宅で暮らしている人たちの支援活動を考える「石巻市健康・生活復興フォーラム」(実行委主催、石巻市後援)が、29日午後2時から石巻専修大森口記念館で開かれる。

行政や復興支援団体などの関係者を対象に開

催。在宅避難者の健康や生活の実態を踏まえ、住民ニーズに対する適切な支援、住民ネットワークの再生、孤立・孤独から派生する自殺・孤独死の予防対策などを考え、今後の取り組みに役立てもらう。

「市民の生活の表情と

復興への提案」の題で県東部保健福祉事務所の平山史子次長、市社会福祉協議会会長のあい総括センターの北川進所長、石巻医療圏健康・生活復興協議会代表で祐ホームクリニック石巻の武藤真祐院長、医療法人仁泉会石巻事務所の渡部哲也所長の4氏が講話する。

引き続き「市民の生活復興に向けて求められる力」の題で、市被災市民生活支援課の庄司勝彦課

頑張ろう石巻

3.11東日本大震災

長が市の考え方を提示した後、講話した人たちによるパネル討論がある。

参加希望者はファクスか電子メールに氏名、所属、電話番号を明記して申し込む。締め切りは25日。ファクスは0225(23)95062。メールアドレスはisaino@makire.com

連絡先は石巻医療圏健康・生活復興協議会0225(23)95061。

藤野整形外科

MRI、CT装置完備
東松島市矢本字大溜25-1
☎(0225)83-2121(代)

海釣りのプロら 8人で特別番組

あすラジオ石巻 ラジオ石巻は20日、海釣りのプロら8人を集めた特別番組「Stand Up Fishing! KIZUNA」を放送する。東日本大震災後、にぎわいが失われがちな石巻の海釣りを復活させる契機にしようと、石巻

市蛇田の釣具店「フイツシャーマン石巻店」に特設スタジオを構え、午後3時から5時まで公開生放送でトークショーなどをやる。

釣りライターでインガレイの体長日本記録を持つ菅野剛さん(54)ら地元石巻からの3人をはじめ、市外からもスペシャリストたちが集まる。

番組では出演者たちが海釣りの魅力や釣りのコツを語る。特別プレゼンともある。

特番を企画した菅野さんは「番組を聴いて多くの人が海釣りを再開するきっかけにしてほしい」と話す。

番組の司会を担当する今野雅彦ラジオ石巻営業部長兼技術部長は「石巻地方には釣具店、民宿、釣り船などの釣り関係の仕事に携わる人が多く、震災の影響、自粛ムードで活気を失っている人もいる。海釣り再開を待ち望む人たちの手助けとなるような番組にしたい」と話している。

あすの潮汐

20日(土) = 中潮	川
満潮(高) 7:31(40)	干潮(低) 0:16(-71)
17:31(69)	11:55(16)

天気

は海ちやで8.5℃
よ風のやま温高1.5℃
きのでの屋低波西高1.5℃
北北上で19度。あす晴れ
強く曇り。最高気温は21度。最低気温は15度。風は東から吹く。波は2m程度。南風。